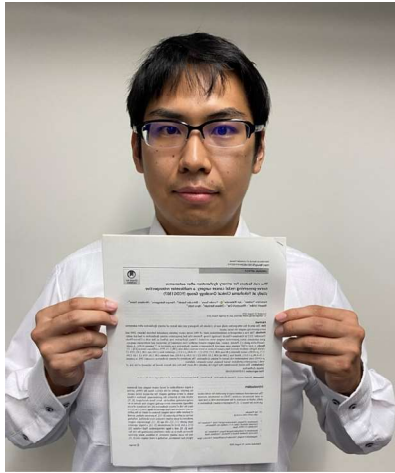


YCOG1307

The risk factors for urinary dysfunction after autonomic nerve-preserving rectal cancer surgery: a multicenter retrospective study at Yokohama Clinical Oncology Group (YCOG1307).

Toritani K, Watanabe J, Suwa Y, Suzuki S, Nakagawa K, Suwa H, Ishibe A, Ota M, Kunisaki C, Endo I.

Int J Colorectal Dis. 2019 Oct;34(10):1697-1703. doi: 10.1007/s00384-019-03374-3. Epub 2019 Aug 30.



大学院 博士課程1年
鳥谷建一郎先生

YCOG1307試験は1000例を超える大規模な進行下部直腸癌の術後補助化学療法に関する後ろ向き観察研究であり、この研究のサブ解析として排尿障害について解析し、執筆させていただきました。

YCOG施設の多くの先生方やスタッフのご協力で多く症例を登録していただいたおかげで過去にない大規模な直腸癌術後の排尿障害に関するデータを検討することができ、その結果International Journal of Colorectal diseaseに掲載され、皆さまに大変感謝しております。これからもYCOG発展に貢献できるよう努力していきますのでご支援のほどよろしくお願いいたします。

YCOG1404

Efficacy and safety of enoxaparin for preventing venous thromboembolic events after laparoscopic colorectal cancer surgery: a randomized-controlled trial (YCOG 1404).

Nakagawa K, Watanabe J, Ota M, Suwa Y, Suzuki S, Suwa H, Momiyama M, Ishibe A, Saigusa Y, Yamanaka T, Kunisaki C, Endo I.

Surg Today. 2020 Jan;50(1):68-75. doi: 10.1007/s00595-019-01859-w. Epub 2019 Aug 5.



平成17年卒 中川和也先生

この度YCOG1404試験の論文執筆を担当させていただきました、Surgery Todayに掲載されました。

YCOG1404試験は結腸癌の腹腔鏡下手術における術後静脈血栓塞栓症（VTE）予防にエノキサパリンが有効であるかを評価したランダム化比較試験です。残念ながら、エノキサパリン投与によるVTE予防効果は証明できませんでしたが、自分にとっては臨床試験に携わる初めての機会であり、症例設計を含むプロトコール作成、統計解析、論文の執筆と様々なことを勉強する経験ができました。

症例登録にご協力いただいたYCOG関連施設やその先生方には大変感謝をしております。この場を借りて御礼申し上げます。今後ともYCOGの発展に貢献できればと思います。